

疼痛治療にツボ注射（トリガーポイントブロック）を用いた 10 症例

10 cases of pain control with Tubo-injection (trigger-point block)

脇 昌之

医療法人錦秀会阪和第二泉北病院内科，脇医院内科，大阪市立大学大学院代謝内分泌病態内科学

It is famous that the trigger-point block (so called “Tubo-injection”) is very useful for pain control. I tried Tubo-injection 10 cases of lower limb pain and headache in the Hanwa Daini Hospital and Waki Iin. I used Tubo right and Left TE₅ (Gaikan) on headache, and GB₃₅ (Youkou), SP₆ (Saninkou), BL₅₉ (Fuyou) on lower limbs pain and numbness.

All 10 cases are very successfully cured with Tubo-injection. Any drug can be use, for example, 0.25 % bupivacaine hydrochloride, 1 % lidocaine, elcatonin and acetylcholine chloride and so on, but only 0.5 ml or 1 ml injection at one place with 22 G or 26 G needle. Tubo-injection is very useful pain control technique any doctors and nurses can do concisely.

【緒言】上肢や下肢のツボに少量の注射液を注入することにより，疼痛コントロールが出来ることが知られている。今回，腰痛治療のため下肢に，頭痛治療のため上肢にツボ注射を施行し，疼痛が改善するかどうかを検討した。

【方法】腰痛や下肢痺れを主訴とする阪和第二泉北病院に入院中の患者 8 名と，脇医院外来通院患者 1 名について，三陰交，陽交，・陽にツボ注射を施行した。また，頭痛を主訴とする阪和第二泉北病院の入院患者 1 名に左右外関にツボ注射を施行した。一つのツボあたり 1 cc の 0.25% 塩酸ブピバカインまたは，1% リドカインを 26G のツベルクリン注射用の針を用いて注射した。1 名については，22G の針を用いて薬液を注入せずに針だけを左の三陰交に刺入した。1 名については 22G の針を用いてエルカトニンを 1 cc ずつ注射した。脇医院の外来患者 1 名については左の陽交，三陰交に塩化アセチルコリンを 0.5 cc ずつ注射した。

【結果】本人の訴えにて痛みが改善したものを有効，痛みについて変化がなかったものを変化なし，より痛みがひどくなったものを増悪として，10 名すべてに有効であった。痛みスケールでも効果は顕著であり，下肢痺れにも有効であった。

【考察】ツボ注射において注射薬液は何でもよく，腰痛，下肢痺れについては，主に陽交，三陰交に注射すれば効果があることが知られている。頭痛についてもツボ注射は有効であった。効果は大体一週間程度持続するが，一例については，一度針をさして改善後その後二度と針刺しが必要でなかった。22G の針のほうが 26G の針より，重症なほうに効果があると考えられた。

【総括】腰痛の患者 9 名に対して，下肢の三陰交，陽交，・陽に，頭痛の患者 1 名に対して上肢の外関にツボ注射を施行して，疼痛が改善するかを見たところ，10 名すべてに有効であった。内科医でもできる簡便で有効な疼痛治療の一法として試してみる価値あるものと考ええる。